

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

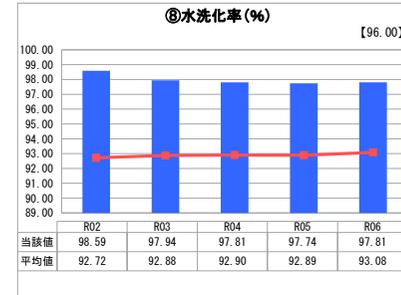
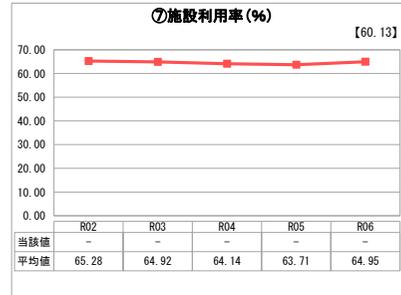
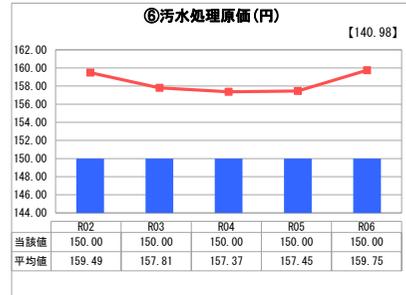
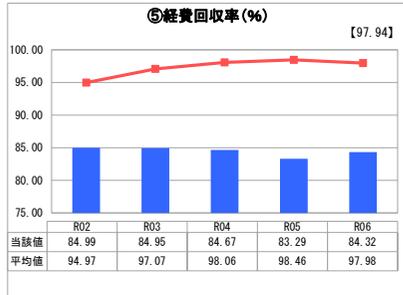
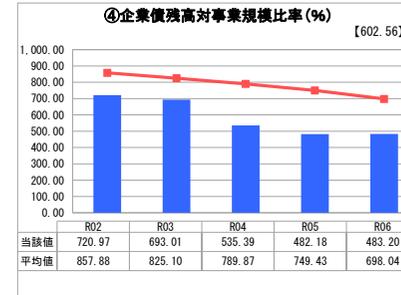
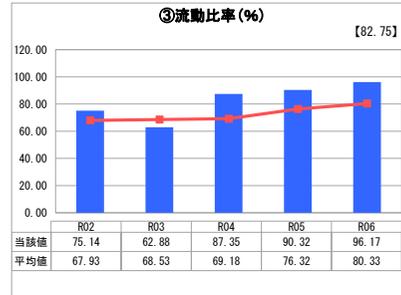
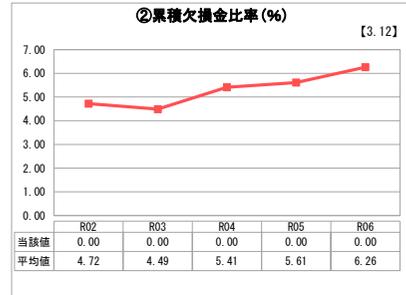
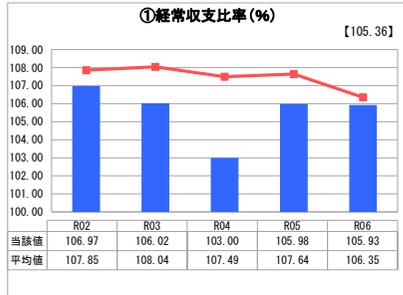
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	64.18	76.05	89.25	1,779

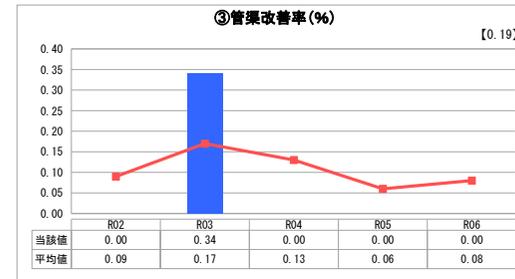
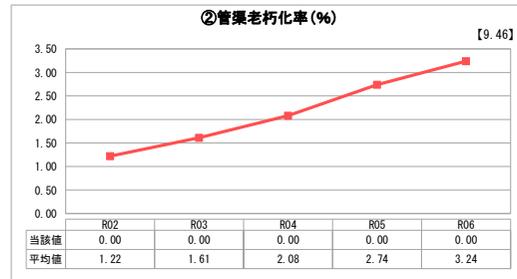
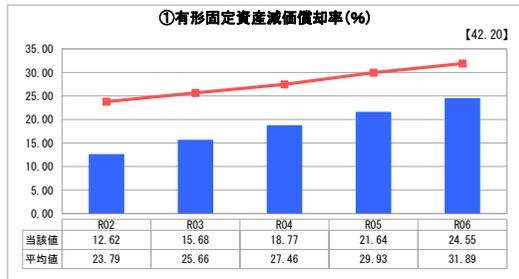
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
40,164	77.12	520.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,373	6.35	4,783.15

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、類似団体や全国平均と同程度で健全な経営状況といえますが、⑤ 経費回収率が類似団体や全国平均より低い状況で、使用料収入以外の収入に依存している状況は改善の必要があります。

③ 流動比率は、前年度より約6ポイント改善しましたが、短期的な債務に対する支払い能力は余裕がない状態です。

④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体や全国平均より低い状況ですが今後は、事業費の増加が見込まれ企業債借入額の増加に伴い、比率が高まることと予測されます。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体より安価ではありますが全国平均と比較すると高い金額となっています。

本市は、処理施設を有していないため、⑦ 施設利用率はありません。

⑧ 水洗化率は、引き続き接続率の向上に努め、高い数値を維持してまいります。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、平成29年度に地方公営企業法を適用したため、当初は低く、毎年上昇していますが、類似団体や全国平均より低い水準となっています。今後も上昇していく見込みです。

現時点では、耐用年数を超える管渠がないため、② 管渠老朽化率はありませんが、近い将来、本格的な更新時期を迎えるため、老朽化率の発生が見込まれます。財源と投資のバランスを考慮しながら、計画的かつ効率的に施設の老朽化対策を行っていく必要があります。

### 全体総括

本市の下水道使用料収入は、大口事業者の事業活動や景気による影響を受けやすい特性があります。また、家庭汚水も人口減少や節水機器の普及により減少傾向が続いており、厳しい経営状況が見込まれます。早急に経営改善に取り組み、収入の増加に努めてまいります。

未普及地域の整備と並行して、耐用年数を超える管渠もでてくることから、将来の更新事業に向けた資金の確保が必要となります。

今後も適正な維持管理費や使用料について継続的に検証を行い、経費回収率100%を目指し、安定した事業運営に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。